

○ 「宇都宮市スポーツ推進計画」の概要

第1章 計画の策定にあたって

1 計画策定の目的

- ・ 国の「スポーツ基本計画」との整合を図るとともに、本市の現行計画であるスポーツ振興基本計画の進捗を踏まえながら、より効果的にスポーツ推進に取り組むことができるよう計画を策定するもの

2 計画の位置づけ

- ・ スポーツ基本法第10条に基づく、スポーツの推進に関する計画
- ・ 「第5次宇都宮市総合計画改定基本計画（後期基本計画）」の基本施策を実現するための計画
- ・ 「うつのみや人づくりビジョン（宮っこ未来ビジョン）」の個別計画

3 計画期間

- ・ 平成27年度～平成36年度（10年間）

第2章 スポーツの定義

【この計画におけるスポーツの定義】

一般的な競技スポーツやダンスなどに加え、ウォーキング・散歩・ラジオ体操などの比較的軽い運動やキャンプなどの野外スポーツ、さらに買い物や通勤などについて、健康体力づくりを目的に車から徒歩や自転車に変更して行うなど、目的意識を持った身体活動も含むものである。

●市政世論調査（H22年7月）

子どもの体力向上のために必要な取組

学校と地域社会が一緒に取り組むことを期待している

スポーツ振興における行政への期待

世代に応じて楽しめるスポーツ活動の機会や選択肢の提供、施設の整備充実を期待している

●市民意識調査（H23年12月）

運動やスポーツを行った理由

健康づくり・ストレス解消・仲間づくりなど、目的が多様化している

スポーツを行わない理由

時間がない・機会がないなど、身近で気軽にスポーツを行いたいが、できないことが見受けられる

第3章 スポーツを取り巻く現状と課題

1 社会環境の変化

(1) ライフスタイルの変化

- ・ 少子高齢化による人口減少や東日本大震災により、家族とのつながり、地域とのつながりなどの絆の意識の向上がみられた
- ・ もの豊かさから心の豊かさへ欲求が変化した

(2) 子どもの体力の低下

- ・ 昭和60年頃から現在まで体力・運動能力の低下により、将来的な国民全体の体力低下への懸念されている

(3) 高齢化の進展

- ・ 65歳以上人口割合（高齢化率）（平成23年10月現在）＝23.3%（4人に1人が高齢者）
- ・ 高齢者は「体が弱い」「年をとった」などの理由でスポーツを行わないため、健康で生きがいをもって生活するためにスポーツの果たす役割が期待されている

(4) 情報通信技術（ICT）の発展

- ・ 情報通信技術の発展により、情報収集が容易にできることでスポーツへの興味・関心が高まった
- ・ オンラインショッピングやオンラインゲームなどの普及による体を動かす機会が減少した

(5) ビッグスポーツイベントの開催

- ・ オリンピック、パラリンピック、国体などのビッグスポーツイベントの開催によるスポーツへの興味・関心が高まっている

2 国・県の動向

(1) 国の動向

- ア「スポーツ立国戦略」の策定
- イ「スポーツ基本法」の制定
- ウ 国による「スポーツ基本計画」の策定

(2) 県の動向

- ア「とちぎスポーツ振興プラン21」の作成
- イ 総合スポーツゾーンの整備
- ウ 第77回国民体育大会の開催

3 本市のスポーツの現状と課題

(1) スポーツ振興基本計画の進捗状況と評価

ア 基本目標

- ・ 20歳以上の週1回以上のスポーツ活動実施＝目標に達している
目標：50.0%（H27年）
⇒ 実績：51.6%（H25年）

イ 基本施策（施策の主な指標）

【機会】
対応したスポーツニーズに業対

- ① スポーツニーズに対応したスポーツ事業の充実
＜指標＞地域スポーツクラブの数＝目標に達していない
(H22年) (H25年)
目標：10カ所 ⇒ 実績：6カ所

【場】
充実のスポーツ施設

- ② スポーツ施設の整備・充実
＜指標＞スポーツ施設の利用者数＝体育館大規模改修などにより利用は伸びていない
(H22年) (H25年)
目標：140万人 ⇒ 実績：126万人

【人】
人材の育成

- ③ 市民スポーツを支援する人材の育成
＜指標＞指導者講習会の参加者数＝目標に達していない
(H22年) (H25年)
目標：870人 ⇒ 実績：700人

【情報】
情報の充実

- ④ スポーツ情報やネットワークサポート体制の充実
＜指標＞WEB情報のアクセス回数＝目標に達していない
(H22年) (H25年)
目標：10万回 ⇒ 実績：2万6千回

(2) 本市のスポーツの現状

- ア スポーツに対するニーズ
・ マラソン大会などスポーツに関する各種施策の重要度の高まり
- イ 子どもの体力の低下
・ 運動やスポーツを「毎日」している小学生の割合の減少
- ウ 高齢者のスポーツ活動の進展
・ 60歳以上のスポーツ活動実施率が高い
- エ 観るスポーツの活用
・ プロスポーツチームの活躍を間近に観戦できる機会の提供
・ ジャパンカップ開催など「自転車のまち宇都宮」の推進
- オ プロスポーツチームの支援と連携
・ さまざまな市主催イベントへの参加協力

- カ スポーツ施設の整備
・ 老朽化等に対応した施設整備の推進
・ 市全域の施設配置と地域の特性に応じた施設の整備
・ 快適、安全に誰もがスポーツに親しむためのバリアフリー化
・ 防災対策と防災機能を有した施設の整備

- キ スポーツ指導者の育成・活用
・ スポーツ推進委員や少年スポーツ指導員等を対象とした研修会、講習会の開催
・ 多方面にわたる指導者の活用（活躍の場）の要望

- ク スポーツ情報の提供
・ 市広報誌、ホームページなどによるスポーツ情報の提供
・ スポーツ振興財団ホームページによるスポーツ施設やスポーツ教室の周知

(3) 導き出された課題

課題1「スポーツニーズの変化への対応」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会・経済状況の変化などによる人々の行動や意識変化への対応 ・ スポーツの果たす役割や効果への期待への対応 ・ 長期的に低下している子どもの体力向上への対応 	<p>【求められているもの】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① スポーツを生活の中に取り入れることの推進 ② ライフステージに応じたニーズに対応した取組 ③ 競技力の向上 ④ 障がい者スポーツの推進 ⑤ 観るスポーツの推進 ⑥ 地元プロスポーツチームの支援 ⑦ 子どもが運動に親しむ環境の整備
課題2「地域スポーツの推進」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な場所でスポーツに取り組める「場」を確保するための対応 ・ スポーツの指導者や団体などの育成への対応 	<p>【求められているもの】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 指導者の確保・育成 ② スポーツ団体の育成・支援 ③ 地域スポーツクラブの設立・育成 ④ 身近なスポーツ施設の確保
課題3「スポーツ施設の計画的な整備」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市全体のスポーツ施設配置の検討と対応 ・ スポーツ施設の老朽化への対応 ・ 利便施設、バリアフリー化への対応 ・ 施設の安全性の確保への対応 ・ 施設だけでなく気軽にスポーツを楽しむ環境整備への対応 	<p>【求められているもの】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① スポーツ施設の適正配置と計画的な整備 ② 利便施設の整備・バリアフリー化の推進 ③ 防災機能の充実 ④ 利用しやすい施設の管理運営 ⑤ 市全体の施設配置の変化への対応
課題4「スポーツ情報の提供の充実」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報によるスポーツを始めるきっかけづくりへの対応 ・ 分かりやすい情報提供への対応 ・ 情報を容易に入手できる環境づくりへの対応 	<p>【求められているもの】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① スポーツ情報発信サイトU-sportsの有効活用 ② トップレベルスポーツ選手のPR ③ 観るスポーツの情報発信

○ 「宇都宮市スポーツ推進計画」の概要

第4章 スポーツ推進の基本的な考え方

基本理念

だれもが、いつでも、いつまでも、
スポーツを楽しむ = ひとり1スポーツの実現
生涯スポーツ社会の実現

スポーツは、それをする事自体が喜びや楽しさをもたらす活動であるということを念頭に置き、それぞれの年齢や健康状態、技術、興味、目的に応じて、幼児から高齢者まで、市民一人ひとりが生涯にわたってスポーツを楽しむことができる環境の実現を目指します。

基本目標

スポーツ人口の拡大

【指標】

20歳以上の市民の週1回以上のスポーツ活動実施率
51.6% (H25 現状) ⇒ 75.0% (H36 目標)
(4人に3人)

第5章 スポーツ推進のための施策・事業

●個別施策と基本項目 (《新》=新規基本項目, 《拡》=拡充基本項目)

課題(第3章より)

課題1

スポーツニーズの変化への対応

課題2

地域スポーツの推進

課題3

スポーツ施設の計画的な整備

課題4

スポーツ情報の提供の充実

だれもが、いつでも、いつまでも、スポーツを楽しむ生涯スポーツ社会の実現

基本施策1
ライフステージ等に
応じた
スポーツ活動の推進

基本施策2
スポーツ活動環境の充実

基本施策3
スポーツを支える
人材の育成・団体の
活性化

【重点】子どものスポーツへの興味・関心の高揚
・楽しくスポーツを選ぶ機会づくり《新》
・「宇都宮市小中学校体力向上推進計画(うつのみや元気っ子プロジェクト)」との連携《拡》
成人のスポーツ参加の促進
・スポーツに参加しやすい機会づくり ・「第2次健康うつのみや21」との連携《拡》
・ライフスタイルの中にあるスポーツ活動の促進《新》 ・「自転車のまち宇都宮」の推進《新》
高齢者のスポーツ活動の促進
・高齢者スポーツ活動拠点の確保 ・生きがいとなるスポーツ発見の機会づくり
障がい者のスポーツ活動の促進
・スポーツ施設のバリアフリー化 ・障がい者スポーツの普及促進《拡》
【重点】多世代にわたるスポーツ活動の促進
・地域スポーツクラブの育成、活動支援

【重点】地域におけるスポーツ活動の推進
・地域スポーツクラブ間の連携促進《新》 ・地域でのスポーツ活動の促進
【重点】トップレベルのスポーツに触れる機会の創出
・トップレベルスポーツの開催、誘致《拡》 ・プロスポーツ選手等との連携
【重点】スポーツ施設等の整備
・スポーツ施設の配置のあり方検討及び計画的整備、改修の推進
・施設の老朽化、機能向上などへの対応 ・防災機能の充実《新》
スポーツ教室・講習会の開催
・各種スポーツ教室、講習会の開催 ・地域訪問、学校訪問によるスポーツ指導《拡》
競技スポーツの向上
・国体に向けた競技スポーツの支援《新》 ・スポーツ人口の裾野拡大《新》
・スポーツ大会出場支援《拡》
野外活動事業の充実
・自然環境を生かした野外活動の推進
スポーツ大会の開催・支援
・参加型スポーツ大会、観戦型スポーツ大会の開催
スポーツ施設の利便性の向上
・施設予約システムの利便性の向上《拡》 ・利用者ニーズにあった施設利用環境の確保

【重点】スポーツ指導者の育成・活用
・市民ニーズに対応できるスポーツ指導者の発掘、活用《拡》
スポーツ活動団体の育成・支援
・スポーツ団体間の連携強化《新》 ・スポーツ団体の活動支援
【重点】スポーツ情報提供の充実
・スポーツ情報発信サイトU-sportsの機能向上、活用促進《新》 ・トップレベル選手のPR
まちづくりや観光へのスポーツの活用
・「宇都宮市観光振興プラン」との連携《新》 ・プロスポーツの支援

【指標①】
地域スポーツクラブが
カバーする地域数
6地域 (H25 現状)
↓
39地域 (H36 目標)
(市内全域をカバー)

【指標②】
スポーツ施設利用満足度
69% (H23 現状)
↓
80% (H36 目標)
(施設利用の利便性向上を図り、中間的評価層を満足層に取り込む)

【指標③】
スポーツ教室の参加者数
45,334人 (H25 現状)
↓
50,000人 (H36 目標)
(市民の10人に1人が参加)

【指標④】
スポーツ指導者研修
の受講者数
706人 (H25 現状)
↓
800人 (H36 目標)
(対象者が2年に1回受講)

第6章 計画推進のために

1 生涯スポーツ社会の実現に向けた役割

市民一人ひとりが生涯にわたってスポーツを楽しむことができる環境の実現を目指す必要があることから、それぞれ掲げた目標を基に生涯スポーツの実現を目指します。

●地域

市民一人ひとりはもちろん、家庭や地域などが一体となり、体力の維持増進・世代間の交流・スポーツに関するボランティア活動などを実践

●スポーツ関連事業の実施団体

企業・事業者、学校、地域スポーツクラブやスポーツ推進委員会等の実施団体は、持てるスポーツの力を発揮し、スポーツ活動を推進

●行政

ニーズの分析、スポーツ推進策の企画・立案、関係機関のネットワーク作りなどを審議会に諮りながら実践

2 計画の実現に向けて

- ・基本施策ごとの目標を計画的に推進
- ・学校や家庭が一体となった子どものスポーツに関する取り組みの推進
- ・市民意識調査の徹底による市民ニーズの把握とスポーツ推進事業への反映
- ・「重要施策・事業」の計画的推進と進捗状況管理